

# 2022年度 がん検診精度管理報告

(肺がん・大腸がん・胃がん・乳がん・子宮頸がん)

2024年3月データまとめ  
河北健診クリニック

1. 40歳以上の胸部エックス線受診者数は12,961人、胸部CTは1,057人で、その割合は8.2%に留まった。
2. 胸部エックス線の肺がん発見は5例(うち早期がん3例)。要精検率は2.3%、がん発見率は0.039%、陽性的中率は1.68%。
3. 胸部CTの肺がん発見は5例(全例早期がん)。要精検率は4.35%、がん発見率は0.473%、陽性的中率は10.87%。
4. 胸部CTのがん発見率と陽性的中率が高いことが示されたが、よりリスクの高い人、また高齢者がCTを受診する傾向があり、その分を勘案する必要がある。
5. 受診者の年齢分布を加味し、全国の罹患率から計算した検出感度では胸部エックス線は25.4%であったのに対し、CTは289.0%となった。

## 検査ごとの集計

検査方法	性別	受診者数 (A)	要精検者 数 *(B)	要精検率 (100xB/A)	精検受診 数(C)	精検受診率 (100xC/B)	がん発生 数 (D)	がん発見 率 (100xD/A)	陽性的中度 (100xD/B)
CXR	男	9,340人	201人	2.15%	140人	69.7%	4人	0.04%	1.99%
	女	8,543人	108人	1.26%	87人	80.6%	1人	0.01%	0.93%
	合計	17,883人	309人	1.73%	227人	73.5%	5人	0.03%	1.62%
CT (一次検査)	男	747人	19人	2.54%	14人	73.7%	2人	0.27%	10.53%
	女	405人	22人	5.43%	17人	77.3%	3人	0.74%	13.64%
	合計	1,152人	41人	3.56%	31人	75.6%	5人	0.43%	12.20%

CXR: 胸部エックス線検査  
 CT: 胸部CT検査

\*B=肺がん疑い分類のみ

## 男女年代別要精検率・がん発見率

### ①胸部エックス線

男性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳以上	総合計	40歳以上
受診者数	2,389人	2,325人	2,537人	1,447人	642人	9,340人	6,951人
要精検数	8人	34人	75人	56人	28人	201人	193人
要精検率	0.34%	1.56%	3.28%	3.87%	4.36%	2.15%	2.78%
がん発見数	0人	0人	1人	2人	1人	4人	4人
発見率	0%	0%	0.04%	0.14%	0.16%	0.05%	0.04%

女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	総合計	40歳以上
受診者数	2,533人	2,168人	2,267人	1,160人	415人	8,543人	6,010人
要精検数	3人	21人	41人	30人	13人	108人	105人
要精検率	0.12%	0.97%	1.81%	2.59%	3.13%	1.26%	1.75%
がん発見数	0人	0人	0人	1人	0人	1人	1人
発見率	0%	0%	0%	0.09%	0%	0.01%	0.02%

## 男女年代別要精検率・がん発見率

### ②胸部CT(一次検査)

男性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳以上	総合計	40歳以上
受診者数	58人	158人	259人	180人	92人	747人	689人
要精検数	1人	7人	3人	10人	4人	24人	23人
要精検率	1.72%	4.43%	1.16%	5.56%	4.35%	3.22%	3.34%
がん発見数	0人	0人	0人	1人	2人	2人	2人
発見率	0%	0%	0%	0.56%	2.17%	0.27%	0.29%

女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	総合計	40歳以上
受診者数	37人	74人	157人	74人	63人	405人	368人
要精検数	1人	5人	8人	2人	8人	24人	23人
要精検率	2.70%	6.76%	5.10%	2.70%	12.70%	5.93%	6.25%
がん発見数	0人	1人	1人	0人	1人	3人	3人
発見率	0%	1.35%	0.64%	0%	1.59%	0.74%	0.82%

## 検診感度の推定

[2019年の肺がん(上皮内がん含む)罹患率、人口構成から推定]

### ①胸部エックス線

	歳台	全国肺がん 罹患数	当該年齢 全国人口	クリニック 受診者数	肺がん罹患 期待値
男	40歳～	1,377人	9,373,000人	2,175人	0.32人
	50歳～	4,820人	8,160,000人	2,287人	1.35人
	60歳～	18,520人	7,930,000人	1,283人	3.00人
	70歳～	60,558人	11,381,000人	568人	3.02人
女	40歳～	1,092人	9,147,000人	2,095人	0.25人
	50歳～	2,926人	8,118,000人	2,116人	0.76人
	60歳～	8,357人	8,302,000人	1,093人	1.10人
	70歳～	31,373人	15,791,000人	309人	0.61人
合計		129,023人	78,202,000人	11,926人	19.7人

2022年度 肺がん 発見 5人、**検診感度**  $5/19.7 = 25.4\%$

## 検診感度の推定

[2019年の肺がん(上皮内がん含む)罹患率、人口構成から推定]

### ①胸部CT

	歳台	全国肺がん 罹患数	当該年齢 全国人口	クリニック 受診者数	肺がん罹患 期待値
男	40歳～	1,377人	9,373,000人	158人	0.02人
	50歳～	4,820人	8,160,000人	259人	0.15人
	60歳～	18,520人	7,930,000人	180人	0.42人
	70歳～	60,558人	11,381,000人	91人	0.48人
女	40歳～	1,092人	9,147,000人	73人	0.009人
	50歳～	2,926人	8,118,000人	157人	0.06人
	60歳～	8,357人	8,302,000人	74人	0.07人
	70歳～	31,373人	15,791,000人	55人	0.11人
合計		129,023人	78,202,000人	1,047人	1.73人

2022年度 肺がん 発見 5人、**検診感度**  $5/1.73 = 289.0\%$

## 肺がん検診感度 比較

	受診者数*	要精検者数	要精検率	肺がん	がん 発見率	陽性的中率	期待値	感度(%)
CXR	12,961人	298人	2.30%	5人	0.04%	1.68%	19.7人	<b>25.4%</b>
CT	1,057人	46人	4.35%	5人	0.47%	10.87%	1.73人	<b>289.0%</b>

CXR: 胸部エックス線検査

CT: 胸部CT検査

PPV= positive predictive value (陽性適中度)

\*受診者数=40歳以上

肺がん検診感度:

**CT > CXR**

## 肺がん診断症例①

年齢性	検診種	判定・所見	CT結果	確定結果	診断契機	進行度
75M	成人	両下肺網状影	左中葉結節、右中葉結節	pT2aN0M0 扁平上皮癌	CXRで他部位病変指摘し、CT	Stage I B 早期がん
50F	成人	異常なし	右上葉S1結節	pT2aN0M0 腺癌	CT	Stage I B 早期がん
52M	ドック	右上肺野31mm結節, 前年も結節D未受診	左上葉結節 34mm	pT2aN1M1c (多発小脳) 扁平上皮癌	XR	Stage IV 進行がん
60M	ドック	異常なし	右中葉7/3mm部分充実性結節	pT1miN0M0 腺癌	CT	Stage I A1 早期がん
61M	ドック	右中肺野淡い結節	右下葉S6に 15mmの不整結節	pT1aN0M0 腺癌	XR	Stage I A1 早期がん

## 肺がん診断症例②

年齢性	検診種	判定・所見	CT結果	確定結果	診断契機	進行度
75F	区健	右下肺野結節	右下葉S8に12mmの部分充実結節	pT1bN0M0 腺癌	CT	Stage I A2 早期がん
60F	ドック	右中肺野淡い結節	右上葉S2 13mm 結節 嵌入	pT1aN0M0 腺癌	XR	Stage I A 早期がん
66M	成人	右肺門から縦隔腫瘍	右上葉1cm腫瘍、 肺門から縦隔腫瘍	cT2aN3M1c 腺癌	XR	Stage IVB 進行がん
49F	ドック	異常なし	右上肺野浸潤影	pT1aN0M0 腺癌	CT	Stage I A1 早期がん
71M	ドック	左上肺野38mmの腫瘍影	左上葉38mm腫瘍、 気腫と線維化を背景		XR	Stage I B 早期がん

1. 大腸がん検診では精検受診率の低いことが問題視されているため、積極的な受診勧奨と受診把握を強化した。
2. 2020年から3年間で、精検受診率は42.6%、46.8%、67.0%と増加し、それに伴いがん発見数は14例、20例、35例と増加した。ただし、本統計では上皮内がんを含み、がんの69%が上皮内がんであった。
3. がん発見率は3年間で、0.09%、0.14%、0.20%と増加し、陽性的中率も1.42%、2.06%、3.78%と増加した。すなわち、便潜血陽性者の3.78%ががんであることを示す。この間、要精検率はむしろ低下傾向であり、これら指標の増加はひとえに受診率もしくは受診数の増加の結果である。
4. 1日法と2日法では受診者の年齢構成が異なるので、単純に比較することはできないが、2019年度から2022年度までの期間で40歳以上のがん発見率を比較すると、1日法0.11%、2日法0.15%と2日法が優れていた。

## 受診者全体

性別	受診者数 (A)	要精検者 数(B)	要精検率 (100xB/A)	精検受診数 (C)	精検受診率 (100xC/B)	がん発生 数(D)	がん発見率 (100xD/A)	陽性的中率 (100xD/B)
男 1日/2日	8,987人 1,640/7,347	540人 71/469	6.01% 4.33/6.38	352人 34/318	65.2% 47.9/67.8	19人 2/17	0.21% 0.12/0.23	3.52% 2.82/3.62
女 1日/2日	8,628人 2,181/6,447	385人 78/307	4.46% 3.58/4.76	268人 37/231	69.6% 47.4/75.2	16人 2/14	0.19% 0.09/0.22	4.16% 2.56/4.56
合計 1日/2日	17,615人 3,821/13,794	925人 149/776	5.25% 3.90/5.63	620人 71/549	67.0% 47.7/70.7	35人 4/31	0.20% 0.10/0.22	3.78% 2.68/4.00

1日：便潜血1日法、2日：便潜血2日法

## 男女年代別要精検率・がん発見率

### 男性

便潜血1日法

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	823人	325人	304人	125人	63人	1,640人
要精検数	26人	15人	15人	8人	7人	71人
要精検率	3.16%	4.62%	4.93%	6.40%	11.11%	4.33%
がん発見数	0人	0人	0人	1人	1人	2人
発見率	0%	0%	0%	0.80%	1.59%	0.12%

### 女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	1,167人	477人	367人	120人	50人	2,181人
要精検数	41人	23人	11人	3人	0人	78人
要精検率	3.51%	4.82%	4.82%	3.00%	0%	3.58%
がん発見数	0人	1人	0人	1人	0人	2人
発見率	0%	0.21%	0%	0.83%	0%	0.09%

## 男女年代別要精検率・がん発見率

男性

便潜血2日法

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	800人	1,823人	2,076人	1,289人	688人	6,676人
要精検数	28人	86人	149人	123人	71人	457人
要精検率	3.50%	4.72%	7.18%	9.54%	10.32%	6.85%
がん発見数	0人	1人	6人	2人	5人	14人
発見率	0%	0.05%	0.29%	0.16%	0.73%	0.21%

女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	846人	1,938人	2,203人	1,393人	967人	7,347人
要精検数	35人	96人	138人	109人	91人	469人
要精検率	4.13%	4.95%	6.26%	7.82%	9.41%	6.38%
がん発見数	1人	1人	6人	3人	6人	17人
発見率	0.12%	0.05%	0.27%	0.22%	0.62%	0.23%

## 検診感度の推定

[2019年の大腸がん(上皮内がん含む)罹患率、人口構成から推定]

	歳台	全国大腸がん 罹患数	当該年齢 全国人口	クリニック 受診者数	大腸がん罹患 期待値
男	40歳～	4,904人	9,373,000人	2,148人	1.12人
	50歳～	12,813人	8,160,000人	2,380人	3.74人
	60歳～	30,291人	7,930,000人	1,414人	5.40人
	70歳～	66,754人	11,381,000人	751人	4.40人
女	40歳～	3,788人	9,147,000人	2,415人	1.00人
	50歳～	7,979人	8,118,000人	2,570人	2.53人
	60歳～	16,144人	8,302,000人	1,513人	2.94人
	70歳～	54,151人	15,791,000人	1,017人	3.49人
合計		196,824人	78,202,000人	14,208人	35.75人

2022年度 大腸がん(上皮内がん含む)発見 35人、**検診感度**  $35/35.75 = 97.9\%$

## 大腸がん診断症例①

年齢性	健診種	便潜血		受診先	検査結果	病期
72M	ドック	308	171	河北	CF:上行結腸 12mm大Is型 ポリープ	Stage0 早期(上皮内癌)
48F	ドック	440	156	河北	CF:S状結腸 20mm大0-Ip型 ポリープ	Stage0 早期(上皮内癌)
43F	ドック	1000	NA	河北	CF:盲腸 35mm大Ip型 ポリープ	Stage0 早期(上皮内癌)
72M	区健	880	1000	河北	CF:上行結腸 25mm大 2型病変	Stage III b 進行癌
63M	成人	566	17	他院	CF	推定Stage0 早期(上皮内癌)
78F	区健	154	15	他院	CF	推定Stage0 早期(上皮内癌)
58M	成人	179	11	河北	CF:直腸Rs 12mm大 Is型 ポリープ	Stage I 早期

## 大腸がん診断症例②

年齢性	健診種	便潜血		受診先	検査結果	病期
		陽性数	陰性数			
39M	成人	780	12	河北	CF:S状結腸 10mm大 Ips型 ポリプ	Stage0 早期(上皮内癌)
51M	ドック	106	<1	河北	CF:下行結腸 7mm大 Is型 ポリプ	Stage0 早期(上皮内癌)
68M	成人	<1	142	河北	CF:横行結腸 15mm大 0-Is型 ポリプ	Stage0 早期(上皮内癌)
49M	ドック	<1	575	河北	CF:直腸Rb 8mm大 Ips型 ポリプ	Stage0 早期(上皮内癌)
55F	成人	33	136	河北	CF:横行結腸 30mm大 LST-G	Stage0 早期(上皮内癌)
75F	区健	842	933	河北	CF:上行結腸 2型腫瘍	Stage I 進行癌
73M	成人	363	NA	他院	CF	不明

## 大腸がん診断症例③

年齢性	健診種	便潜血		受診先	検査結果	病期
82F	区健	1000	595	河北	CF:横行結腸 2型腫瘍	Stage II A 進行癌
65F	区健	1000	1000	河北	CF:上行結腸 2型腫瘍	Stage II A 進行癌
80M	区健	1000	78	河北	CF:S状結腸 25mm大 LST-NG	Stage0 早期(上皮内癌)
71F	成人	<1	844	他院	CS:Rsに13mm Isp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
60F	成人	1000	1000	河北		Stage I 早期
75F	区健	421	124	他院		不明 上皮内癌(粘膜内癌)
58M	成人	861	715	他院	不明 他院にてCS 6個切除 一部 がん化も治癒切除	不明 早期(上皮内癌)

## 大腸がん診断症例④

年齢性	健診種	便潜血		受診先	検査結果	病期
		<1	陽性値			
76M	区健	<1	442	河北	TCS:A/C15mmlp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
61F	成人	488	NA	河北	TCS:2か所CSP S/C15mmlp 後日	Stage0 早期(上皮内癌)
73M	区健	1000	107	河北	TCS:3/30手術 術後化学療法中	Stagella 早期(上皮内癌)
53M	ドック	1000	1000	河北	TCS:直腸Rb1/2周病変術前化学放射線療法でpCR後、手術へ	Stagell 進行癌
53F	成人	325	45	河北	TCS:S/C15mmlp R20mmlsp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
76M	区健	138	1000	河北	TCS:T/C15mmla EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
65F	区健	<1	245	他院	CS:大腸がんとのみ情報提供あり	不明

## 大腸がん診断症例⑤

年齢性	健診種	便潜血		受診先	検査結果	病期
45F	ドック	8	1000	河北	TCS:S/C14mmIp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
58M	ドック	141	431	河北	TCS:S/C10mmIp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
56F	ドック	399	<1	河北	TCS:直腸10mmIs EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
58M	ドック	1000	1000	河北	TCS:A/C2型病変 CTにて多発肺肝転移	StageIV 進行癌
62F	ドック	1000	378	河北	TCS:S/C12mmIp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)
63M	成人	166	NA	河北	TCS:T/C10mmIsp EMR	Stage0 早期(上皮内癌)

1. 胃がん検診は、22,165人の受診者中51.9%が受診したに留まった。40歳以上に限ると受診率は60.3%となるが、まだ未受診率は高い。
2. 上部消化管内視鏡検査実施数は6,450件(56%)、上部消化管エックス線造影検査は5,051件(44%)であった。
3. 胃がん発見数は6例。このうち1例はピロリ菌未感染の43歳のマルトリンパ腫であった。
4. 上部消化管内視鏡検査のがん発見数は5例で発見率は0.078%、上部消化管エックス線造影検査のがん発見数は1例で発見率は0.020%であった。
5. ピロリ菌の感染・既感染者で胃がん検診の未受診者が40%、上部消化管エックス線造影検査を受けた者が11%あり、検診の不適切な受診が多かった。

## ① 全体: 上部消化管内視鏡＋上部消化管エックス線造影

性別	受診者数 (A)	要精検者数 *(B)	要精検率 (100xB/A)	精検受診数 (C)	精検受診率 (100xC/B)	がん発生数 (D)	がん発見率 (100xD/A)	陽性的中率 (100xD/B)
男	6,745人	141人	2.09%	85人	57.89%	5人	0.07%	3.55%
女	4,756人	65人	1.37%	49人	82.61%	1人	0.02%	1.54%
合計	11,501人	206人	1.79%	134人	65.00%	6人	0.05%	2.91%

## ② 上部消化管内視鏡

男	3,704人	53人	1.43%	46人	86.8%	4人	0.11%	7.55%
女	2,746人	36人	1.31%	33人	91.7%	1人	0.04%	2.78%
合計	6,450人	89人	1.38%	79人	88.8%	5人	0.08%	5.62%

## ③ 上部消化管エックス線造影

男	3,041人	88人	2.89%	39人	44.31%	1人	0.03%	1.14%
女	2,010人	29人	1.44%	16人	55.17%	0人	0%	0%
合計	5,051人	117人	2.32%	55人	47.01%	1人	0.02%	0.85%

## 男女年代別要精検率・がん発見率

男性

① 全体: 上部消化管内視鏡+上部消化管エックス線造影

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	944人	1,945人	2,185人	1,197人	474人	6,745人
要精検数	17人	21人	58人	29人	16人	141人
要精検率	1.80%	1.08%	2.65%	1.62%	2.42%	2.09%
がん発見数	0人	1人	1人	1人	2人	5人
発見率	0%	0.05%	0.05%	0.08%	0.42%	0.07%

女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	644人	1,444人	1,575人	835人	258人	4,756人
要精検数	5人	11人	24人	16人	9人	65人
要精検率	0.78%	0.76%	1.52%	1.92%	3.49%	1.37%
がん発見数	0人	1人	0人	0人	0人	1人
発見率	0%	0.07%	0%	0%	0%	0.02%

## 男女年代別要精検率・がん発見率

### 男性

### ②上部消化管内視鏡

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	417人	986人	1,229人	743人	329人	3,704人
要精検数	6人	3人	24人	12人	8人	53人
要精検率	1.44%	0.30%	1.95%	1.62%	2.43%	1.43%
がん発見数	0人	1人	1人	1人	1人	4人
発見率	0%	0.10%	0.08%	0.13%	0.30%	0.11%

### 女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	348人	796人	922人	491人	189人	2,746人
要精検数	0人	6人	14人	9人	7人	36人
要精検率	0%	0.75%	1.52%	1.83%	3.70%	1.31%
がん発見数	0人	1人	0人	0人	0人	1人
発見率	0%	0.13%	0%	0%	0%	0.04%

## 男女年代別要精検率・がん発見率

### 男性

### ③ 上部消化管エックス線造影

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	527人	959人	956人	454人	145人	3,041人
要精検数	11人	18人	34人	17人	8人	88人
要精検率	2.09%	1.88%	3.56%	3.74%	5.52%	2.89%
がん発見数	0人	0人	0人	0人	1人	1人
発見率	0%	0%	0%	0%	0.69%	0%

### 女性

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	合計
受診者数	296人	648人	653人	344人	69人	2,010人
要精検数	5人	5人	10人	7人	2人	29人
要精検率	1.69%	0.77%	1.53%	2.03%	2.90%	1.44%
がん発見数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
発見率	0%	0%	0%	0%	0%	0%

## 検診感度の推定①全体

[2019年の胃がん罹患率、人口構成から推定]

	歳台	全国大腸がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	大腸がん罹患期待値
男	40歳～	1,409人	9,373,000人	1,945人	0.29人
	50歳～	4,866人	8,160,000人	2,185人	1.30人
	60歳～	18,845人	7,930,000人	1,197人	2.84人
	70歳～	59,876人	11,381,000人	474人	2.49人
女	40歳～	1,127人	9,147,000人	1,444人	0.18人
	50歳～	2,126人	8,118,000人	1,575人	0.41人
	60歳～	6,293人	8,302,000人	835人	0.63人
	70歳～	29,054人	15,791,000人	258人	0.47人
合計		123,596人	78,202,000人	9,913人	15.7人

2022年度 胃がん 発見 6人、**検診感度**  $6/15.7 = 38.2\%$

## 検診感度の推定②内視鏡

[2019年の胃がん罹患率、人口構成から推定]

	歳台	全国大腸がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	大腸がん罹患期待値
男	40歳～	1,409人	9,373,000人	986人	0.15人
	50歳～	4,866人	8,160,000人	1,229人	0.73人
	60歳～	18,845人	7,930,000人	743人	1.77人
	70歳～	59,876人	11,381,000人	329人	1.73人
女	40歳～	1,127人	9,147,000人	796人	0.10人
	50歳～	2,126人	8,118,000人	922人	0.24人
	60歳～	6,293人	8,302,000人	491人	0.37人
	70歳～	29,054人	15,791,000人	189人	0.35人
合計		123,596人	78,202,000人	5,685人	8.98人

2022年度 胃がん 発見5人、**検診感度**  $5/8.98=55.7\%$

## 検診感度の推定③エックス線造影

[2019年の胃がん罹患率、人口構成から推定]

	歳台	全国大腸がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	大腸がん罹患期待値
男	40歳～	1,409人	9,373,000人	959人	0.14人
	50歳～	4,866人	8,160,000人	956人	0.57人
	60歳～	18,845人	7,930,000人	454人	1.08人
	70歳～	59,876人	11,381,000人	145人	0.76人
女	40歳～	1,127人	9,147,000人	648人	0.08人
	50歳～	2,126人	8,118,000人	653人	0.16人
	60歳～	6,293人	8,302,000人	344人	0.17人
	70歳～	29,054人	15,791,000人	69人	0.13人
合計		123,596人	78,202,000人	4,228人	6.68人

2022年度 胃がん 発見1人、**検診感度**  $1/6.68=15.0\%$

## 胃がん診断症例

年齢性	検診種	判定・所見	診断契機	確定結果	進行度
74M	ドック	2型進行胃がん	GF	pT3N1M0 腺癌	Stage III A 進行癌
67M	ドック	0 - II a	GF	pT1aN0M0 腺癌	Stage I A 早期
44M	ドック	陥凹性病変	GF	不明 印環細胞癌	Stage I A 早期
43F	ドック	退色域	GF	マルトリンパ腫	早期
54M	ドック	発赤隆起	GF	T1aN0M0 腺癌	Stage I A 早期
70M	成人	胃粘膜下腫瘍	MDL	pT4bN1M1 扁平上皮癌	Stage IV 進行癌

## ヘリコバクターピロリ抗体検査受診状況(40歳以上)

胃部検査方法	受診者数	HP未検査・不明	HP検査済み		
			陰性	陽性	
				除菌成功	未除菌・除菌不成功・未確認
上部消化管造影	5,051人	3,385人	1,289人	306人	71人
上部消化管内視鏡	6,450人	2,813人	1,963人	1,401人	273人
未実施	10,637人	6,845人	2,382人	1,174人	236人
合計	22,138人	13,043人	5,634人	2,881人	580人

1. 乳がん検診は6,134人におこなわれ、がん発見数は25例、発見率は0.41%であり、昨年の当クリニックの成績(発見率0.32%)を上回った。
2. 要精検率は5.87%、精検受診率も82.8%と高く、陽性的中率は6.93%であった。
3. 乳がん25例のうち早期がんは15例(60%)であった。
4. 乳房エックス線(マンモグラフィー/MMG)検査の単独受診が3,009人(49.1%)、乳腺超音波(エコー/US)単独が1,847人、併用が1,278人(20.8%)であった。
5. がん発見率を2019年度から2022年度までの総計で比較すると、MMG単独で0.36%、US単独で0.20%、MMG+US併用で0.66%となり、併用検査が優れていた。

## 検査ごとの集計

検査方法	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	要精検率 (100xB/A)	精検受診数 (C)	精検受診率 (100xC/B)	がん発生数 (D)	がん発見率 (100xD/A)	陽性的中率 (100xD/B)
MMG	3,009人	219人	7.28%	184人	84.0%	17人	0.56%	7.76%
US	1,847人	38人	2.06%	28人	73.7%	2人	0.11%	5.26%
MMG +US	1,278人	104人	8.14%	87人	80.8%	6人	0.47%	5.77%
合計	6,134人	361人	5.89%	299人	82.8%	25人	0.41%	6.93%

MMG: 乳房エックス線(マンモグラフィー)検査

US: 乳腺超音波(エコー)検査

## 年代別要精検率・発見率

### ①乳房エックス線(マンモグラフィ)検査

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳以上	合計
受診者数	180人	819人	946人	611人	453人	3,009人
要精検数	12人	84人	65人	38人	20人	219人
要精検率	6.67%	10.26%	6.87%	6.22%	4.42%	7.28%
精検受診数	7人	67人	55人	36人	19人	184人
精検受診率	58.3%	79.8%	84.6%	94.7%	95.0%	84.0%
がん発見数	0人	6人	0人	5人	6人	17人
発見率	0%	0.73%	0%	0.82%	1.32%	0.56%

## 年代別要精検率・発見率

### ②乳腺超音波(エコー)検査

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳以上	合計
受診者数	669人	492人	421人	206人	59人	1,847人
要精検数	17人	13人	4人	2人	2人	38人
要精検率	2.54%	2.64%	0.95%	0.97%	3.39%	2.06%
精検受診数	13人	9人	3人	2人	1人	28人
精検受診率	76.5%	69.2%	75.0%	100%	50.0%	73.7%
がん発見数	0人	1人	0人	1人	0人	2人
発見率	0%	0.20%	0%	0.49%	0%	0.011%

## 年代別要精検率・発見率

③乳房エックス線(マンモグラフィ)検査＋乳腺超音波(エコー)検査

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳以上	合計
受診者数	226人	424人	424人	162人	42人	1,278人
要精検数	23人	40人	33人	6人	2人	104人
要精検率	10.18%	9.43%	7.78%	3.70%	4.76%	8.14%
精検受診数	18人	33人	27人	5人	1人	84人
精検受診率	78.3%	82.5%	81.8%	83.3%	50.0%	80.8%
がん発見数	0人	1人	5人	0人	0人	6人
発見率	0%	0.24%	1.18%	0%	0%	0.47%

## 検診感度の推定

[2019年の乳がん罹患率(女性)、人口構成から推定]

歳台	全国乳がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	乳がん罹患期待値
30歳～	3,388人	7,028,000人	839人	0.40人
40歳～	17,693人	9,147,000人	1,735人	3.36人
50歳～	18,348人	8,118,000人	1,791人	4.05人
60歳～	21,174人	8,302,000人	979人	2.50人
70歳～	36,271人	15,791,000人	554人	1.15人
合計	96,874人	48,386,000人	5,898人	11.81人

2022年度 乳がん 発見25人、**検診感度**  $25/11.81 = 211.7\%$

## 検診感度の推定

[2019年の乳がん罹患率、人口構成から推定]

①乳房エックス線(マンモグラフィ)検査

歳台	全国乳がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	罹患期待値
30歳～	3,388人	7,028,000人	152人	0.07人
40歳～	17,693人	9,147,000人	819人	1.58人
50歳～	18,348人	8,118,000人	946人	2.14人
60歳～	21,174人	8,302,000人	611人	1.56人
70歳～	36,271人	15,791,000人	453人	1.04人
合計	96,874人	48,386,000人	2,981人	5.97人

2022年度 乳がん 発見17人、**検診感度**  $17/5.97 = 284.8\%$

## 検診感度の推定

[2019年の乳がん罹患率、人口構成から推定]

### ②乳腺超音波(エコー)検査

歳台	全国乳がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	罹患期待値
30歳～	3,388人	7,028,000人	497人	0.24人
40歳～	17,693人	9,147,000人	492人	0.95人
50歳～	18,348人	8,118,000人	421人	0.95人
60歳～	21,174人	8,302,000人	206人	0.53人
70歳～	36,271人	15,791,000人	59人	0.14人
合計	96,874人	48,386,000人	1,675人	3.35人

2022年度 乳がん 発見2人、**検診感度**  $2/3.35 = 59.7\%$

## 検診感度の推定

[2019年の乳がん罹患率、人口構成から推定]

③乳房エックス線(マンモグラフィ)検査＋乳腺超音波(エコー)検査

歳台	全国乳がん罹患数	当該年齢全国人口	クリニック受診者数	罹患期待値
30歳～	3,388人	7,028,000人	190人	0.09人
40歳～	17,693人	9,147,000人	424人	0.82人
50歳～	18,348人	8,118,000人	424人	0.96人
60歳～	21,174人	8,302,000人	162人	0.41人
70歳～	36,271人	15,791,000人	42人	0.10人
合計	96,874人	48,386,000人	1,242人	2.49人

2022年度 乳がん 発見6人、**検診感度**  $6/2.49 = 241.0\%$

## 乳がん検診感度 比較

	受診者数	要精検者数	要精検率	乳がん	がん発見率	PPV	罹患期待値	感度
MMGのみ	3,009人	219人	7.28%	17人	0.56%	7.76%	5.97人	284.8%
USのみ	1,847人	38人	2.06%	2人	0.11%	5.26%	3.35人	59.7%
MMG+US	1,278人	104人	8.14%	6人	0.47%	5.77%	2.49人	241.0%
合計	6,134人	361人	5.89%	25人	0.41%	6.93%	11.81人	211.7%

PPV= positive predictive value (陽性適中度)

# 乳がん診断症例①

	年齢	コース	自覚症状	視触診	MMG	US	進行度
MMGのみ	65	区健	なし	NA	右石灰化	NA	I 早期
	81	区健	なし	NA	左腫瘍・石灰化	NA	I 早期
	70	特化(区)	なし	NA	左構築の乱れ	NA	IIB
	65	ドック	なし	NA	右腫瘍	NA	I 早期
	62	ドック	なし	NA	右腫瘍	NA	0 早期
	47	成人	あり	異常なし	左腫瘍	NA	I 早期
	79	区健	なし	NA	左腫瘍	NA	不明
	70	成人	なし	NA	左石灰化	NA	IIA
	47	特化(区)	なし	NA	右石灰化	NA	I 早期
	80	区健	あり	NA	左石灰化	NA	IIB
	75	特化(区)	なし	NA	両側石灰化	NA	両側0 早期
	48	成人	あり	NA	右FAD	NA	IIA
	40	特化(区)	あり	NA	右腫瘍	NA	IIB

## 乳がん診断症例②

	年齢	コース	自覚症状	視触診	MMG	US	進行度
MMGのみ	41	成人	あり	NA	左石灰化	NA	0 早期
	61	区健	なし	NA	右腫瘍	NA	不明
	65	特化(区)	なし	NA	右石灰化	NA	I 早期
	47	ドック	なし	右腫瘍	左石灰化(C1)	NA	I 早期
USのみ	63	ドック	なし	異常なし	NA	左腫瘍・右線維腺腫	I 早期
	43	成人	あり	異常なし	NA	左腫瘍	I 早期
MMG+US	58	特化	なし	異常なし	右腫瘍	右腫瘍	不明
	52	成人	なし	NA	右石灰化	異常なし	I 早期
	54	成人	なし	異常なし	右石灰化	左腫瘍	両側0 早期
	58	成人	あり	NA	左腫瘍	左腫瘍	I 早期
	55	ドック	なし	NA	右FAD	右低エコー域	IIB
	46	ドック	なし	NA	左石灰化	異常なし	0 早期

1. 子宮頸がん細胞診検査は 5,406人におこなわれ、うち経腔超音波検査を併用した人は 1,281人(23.7%)であり、昨年と比較して検査数、併用検査数は増加した。
2. 細胞診で高度異形成は5例に認められ、いずれも外科的治療を受けた。5例中30歳台が3例であった。
3. 要精検率は 4.34%であり、精検受診率は 69.1%であった。高度異形成発見率は 0.09%であった。
4. 子宮頸がん検診に留まらず、経腔超音波検査の受診率を上げて婦人科がん検診とすることが望ましい。

## 検査ごとの集計

検査法	受診者数 (A)	要精検 者数(B)	要精検率 (100xB/A)	精検受 診数(C)	精検受診率 (100xC/B)	外科的介 入適応数 (D)	外科的介 入適応率 (100xD/A)	陽性的中度 (100xD/B)
問診、内診と 細胞診検査	4,125人	127人	3.08%	80人	63.0%	3人	0.07%	2.36%
上記+経膈 超音波検査	1,281人	106人	8.27%	81人	76.4%	2人	0.16%	1.89%
経膈超音波 検査のみ	28人	3人	10.71%	2人	66.7%	0人	0.00%	0.00%
合計	5,434人	236人	4.34%	163人	69.1%	5人	0.09%	0.09%

## 年代別要精検率・発見率

問診・内診＋細胞診検査

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台以上	合計
受診者数	835人	1,076人	1,125人	692人	397人	4,125人
要精検数	39人	36人	34人	9人	9人	127人
要精検率	4.67%	3.35%	3.02%	1.30%	2.27%	3.08%
精検受診数	28人	20人	20人	6人	6人	80人
精検受診率	71.8%	55.6%	58.8%	66.7%	66.7%	63.0%
高度異形成 (CIN3)	2人	0人	0人	0人	1人	3人
発見率	0.24%	0.00%	0.00%	0.00%	0.25%	0.07%
陽性的中度	5.13%	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	10.99%

## 年代別要精検率・発見率

問診・内診＋細胞診検査＋経膈超音波検査

	39歳以下	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台以上	合計
受診者数	300人	396人	385人	163人	37人	1,281人
要精検数	28人	32人	35人	9人	2人	106人
要精検率	9.33%	8.08%	9.09%	5.52%	5.41%	8.27%
精検受診数	20人	26人	28人	5人	2人	81人
精検受診率	71.4%	81.3%	80.0%	55.6%	100%	76.4%
高度異形成 (CIN3)	1人	0人	1人*	0人	0人	2人
発見率	0.53%	0.30%	0.00%	0.00%	0.00%	0.26%
陽性的中度	6.45%	3.13%	0.00%	0.00%	0.00%	3.49%

\*子宮体がん

## 高度異形成（CIN3以上）の例

年齢 (歳)	健診種	検査方法	子宮頸部細胞診 (ベセスダ分類)	精査結果 (CIN分類)	治療
59	ドック	AGC	異常所見なし	不正性器出血	手術
31	成人	HSIL	異常所見なし	異常所見なし	PDT療法
84	区特化	ASC-US	NA	子宮下垂	膣式子宮全摘術
30	ドック	HSIL	NA	異常所見なし	未定
36	ドック	LSIL	NA	異常所見なし	円錐切除